新宿区登録手話通訳者選考試験　出題傾向について

1. 筆記試験

　社会福祉（障害一般、法律等）に関すること、新宿区に関すること、手話通訳の知識に関すること等

・〇×問題　５問

・記述問題　５問

・語群選択問題　１０問

【令和5年度出題例】

・〇×問題

　屋内信号装置は、障害者手帳を有していれば等級に係わらず給付を受けられる。

・記述問題

　2025（令和7）年11月デフリンピック東京大会を控え、大会の公用語となる（　　　）の通訳者育成が課題となっている。

・語群選択問題

障害者雇用促進法が民間企業に義務付けている障害者の法定雇用率は、現在2.3%であるが、（　　　）に2.5%へ、2026（令和8）年7月に2.7%へと段階的に引き上げられる予定である。

1. 手話の読み取り

手話を読み取り、内容を全文書き取る。

新宿区オリジナル問題　２題

【令和5年度出題例】

・「新大久保の町並み今昔」

1. 手話表現

　音声を聞き取り、内容を手話で表現する。

新宿区オリジナル問題　２題

【令和5年度出題例】

・「オーバーツーリズム」　音声約２分

1. 面接試験